

特別企画展 「香りの装い」 開催

古代から近現代までの香水瓶を貴婦人の香りとともにご紹介



【見どころ紹介】

1. 古代から近現代まで、時代の流行とともに変化した様々な香水瓶約80点をご紹介します。
2. 香水文化を彩る3人の貴婦人（クレオパトラ、カテリーナ・ディ・メディチ、マリー・アントワネット）をイメージした香りを会場に用意。香りを楽しみながら作品を鑑賞できます。
3. お客様のスマートフォンで、展示作品の音声ガイドが視聴可能。※別途通信料がかかります
ナレーションは、美術・工芸に造詣が深いVTuber 儒鳥風亭（じゅうふうてい）らでん氏が担当。
4. NTTアドバンステクノロジー株式会社の「煌めきディスプレイ」で、香水瓶の質感や輝きを投影し、展示では表現しきれない作品の魅力に迫ります。
5. 特別企画展期間限定、マリーアントワネットをイメージした香り付き入館券になります。

概略

香りは古来においては神への捧げものとして、中世からルネサンスにかけては病気から身を守る薬や魔除けとして、そして現代ではファッションとして、時代とともにその役割を変えていきました。そして、時代の移り変わりとともに、香りは天然石や陶磁器、ガラスといった様々な香水瓶という「衣装」に姿を託し、往時の栄華を今に伝えています。

本展では、3000年以上の時を経て人と香りが歩んだ軌跡をめぐるります。時代を彩る3人の貴婦人たちが愛した香りとともに、水晶や瑪瑙などで制作された香水瓶や、神話や愛などの寓意を込めた香水瓶、ファッションとして香りのイメージをデザインした19世紀末以降の香水瓶など、様々な香りの器の世界をご紹介します。ぜひ、往時の人々の想いが込められた「香りの装い」をお楽しみください。

【タイトル】 特別企画展「香りの装い～香水瓶をめぐる軌跡～」

【会 期】 2024年7月19日（金）から2025年1月13日（祝・月）まで
午前10時～午後5時30分（入館は閉館の30分前まで・会期中無休）

【会 場】 箱根ガラスの森美術館

【主 催】 箱根ガラスの森美術館、毎日新聞社

【後 援】 箱根町

【協 力】 箱根DMO（一般財団法人箱根町観光協会）、小田急グループ

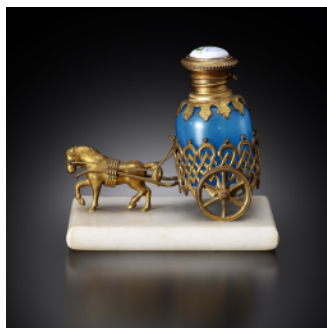
【特別協力】 海の見える杜美術館、高砂香料工業株式会社

【入 館 料】 一般1,800円 高大生1,300円 小中生600円（税込）

1章 貴婦人と香りの広がり

ヴェネチアでは11世紀以降、イスラム世界から貿易を通して貴重な香料がもたらされ、ルネサンス期になると香水をはじめ、石鹸、化粧品が普及しました。この流行はイタリア各都市の宮廷にも広がり、フィレンツェでは数多くの香水工房が誕生します。イタリアの香水をフランスに伝えたのは、メディチ家のカテリーナ・ディ・メディチ（1519 - 1589）。フランス王アンリ2世に嫁いだ際、ムスクなどを用いた香水レシピをフランスに伝えたと言われています。以後、温暖な南フランスのグラスでは、香り豊かな花々から多数の香水が誕生。宮廷文化をリードしたポンパドゥール夫人（1721 - 1764）やマリー・アントワネット（1755 - 1793）により、フランスで香水文化が華開きました。貴重な天然香料から生み出された高価な香水は、宝飾細工や繊細なヴェネチアン・グラス、ヨーロッパで製造が始まったばかりの磁器製の香水瓶など贅を凝らした香水瓶に収められ、貴婦人たちは香りに満たされた至福の時間を享受しました。

導入となるこの章では、箱根ガラスの森美術館の香水瓶コレクションの中核をなす、貴婦人たちが贅を凝らして作らせた個性的な香水瓶の数々を中心にご紹介し、香水瓶の多様性をご紹介します。



馬車形香水瓶
1860年頃 イタリア
箱根ガラスの森美術館 所蔵



香水瓶セット
1870年頃 フランス
海の見える杜美術館 所蔵



香水瓶
1890年頃 ロシア
ファベルジェ社
海の見える杜美術館 所蔵



踊る男女像香水瓶
1751~54年頃 イギリス
ガール・イン・ア・スイング窯
箱根ガラスの森美術館 所蔵

2章 いにしへの香り

古代メソポタミアの地から出土した3000年以上前の最古のガラス器は、香油を入れるためのものだったと考えられ、その頃には既に人と香りの関係が始まっていたことがわかります。古代メソポタミアやエジプトでは、香りは神聖なものとされ、豊かな香りを放つ樹脂や香木を焚き、その香りは煙とともに神へ捧げられました。また、これらの香りを油に移した香膏や香油は、アラバスターやガラス製の容器に収められ、富裕な人々の間で、客人のもてなしなどに使用されました。絶世の美女と謡われた古代エジプト最後の女王、クレオパトラ（B.C.69 - B.C.30）はバラの香りを愛し、その魅惑的な香りと数か国語を巧みに操る才覚で、時の権力者たちを魅了したと言われています。

この章では、香りの器の源流となる陶器製やガラス製の香油瓶をご紹介します。



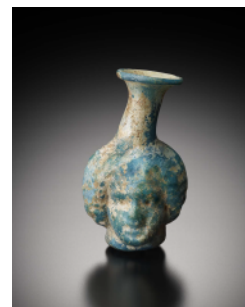
黒絵式香油瓶
紀元前6世紀 ギリシア
箱根ガラスの森美術館 所蔵



コア・グラス香油瓶
紀元前6~紀元前5世紀
東地中海沿岸域
箱根ガラスの森美術館 所蔵



長頸瓶
1世紀 東地中海沿岸域
箱根ガラスの森美術館 所蔵

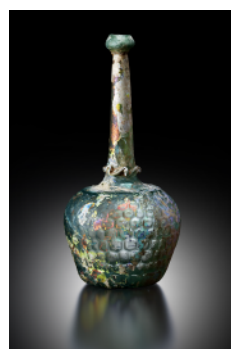


人頭瓶
1世紀 東地中海沿岸域
箱根ガラスの森美術館 所蔵

3章 東方からの香り

西ローマ帝国の滅亡（467年）後、ヨーロッパには長らく暗黒時代が訪れました。一方古代ギリシア・ローマの文化、技術を引き継いだイスラム世界は、西はモロッコから東は中央アジアまで、その勢力圏を急速に拡大。その結果、人やモノをはじめ様々な知識が集中し、ガラス製造をはじめ、アルコールや香りの蒸留に関する技術が発達。領土各地で産出された香辛料や香料が流通していました。なかでもイスラム世界の人々が好んだ香りに、バラとムスク（麝香）があります。バラの香り^{ばら}を移した水（薔薇水）を口の細い瓶から床に撒いたり、客人に振りかけたりなど、芳しい香りでもてなしたと言われていました。この優雅な香りの文化は、ビザンチン帝国皇女テオドラ・デュカス（1058 - 1083）と第31代ドージェ（提督）ドメニカ・セルヴォの婚礼でヴェネチアにもたらされます。香りの文化は瞬く間にヨーロッパ中に広がり、数多くの香料や薔薇水が東方から輸入されました。また7回に及ぶ十字軍の遠征は、人々の関心を東方世界に向けさせ、医学、薬学、香りの製造法などの知識がヨーロッパに広まり、ルネサンス時代の到来につながりました。

この章では、薔薇水を撒布する為の散水瓶をはじめ、東方からの影響で生み出されたヴェネチアン・グラスをご紹介します。



薔薇水瓶
11～12世紀 イラン
箱根ガラスの森美術館 所蔵



薔薇水撒水瓶
17～18世紀 スペイン
箱根ガラスの森美術館 所蔵



グース・ネック形薔薇水撒水瓶
18～19世紀 ペルシア
箱根ガラスの森美術館 所蔵



ボマnder
1690年頃 オランダ
海の見える杜美術館 所蔵



点彩花文蓋付ゴブレット
1500年頃 ヴェネチア
箱根ガラスの森美術館 所蔵

4章 新たな時代の香り

19世紀後半から20世紀初頭は、まさに新たな香水の始まりの時代でした。それまで天然香料から生み出されていた香水が、科学技術の発達による合成香料の誕生と、大量生産が可能になったことにより、王侯貴族の世界から市民社会に広く開放されるようになりました。香水メーカーは、流行に合わせて新たな香りを次々に開発し、イメージに沿った香水瓶をデザイナーに発注。ラベルや箱、広告展開に至るまでブランド戦略を練り、香水分野は、ファッション業界の一大産業に発展していきます。特に気密性が高く大量生産が可能なガラス製香水瓶の需要は高く、フランスを代表するガラスメーカーのバカラ社をはじめ、エミール・ガレやドーム兄弟が芸術性の高い香水瓶を手がけました。特に宝飾デザイナーであったルネ・ラリックは、アール・ヌーヴォーやアール・デコといった時代の流行を取り入れるだけでなく、デザイン性の高い香水瓶を多数生み出し、香水とそのメーカーブランドの価値をさらに高めていきました。

最終章では、時代や流行の移り変わりを反映した近現代の香水瓶を、同時代のヴェネチアン・グラスを交えてご紹介いたします。



月光色エナメル彩香水瓶
1890年頃 フランス エミール・ガレ
箱根ガラスの森美術館 所蔵



「リンゴの花咲く木」香水瓶
1919年 フランス ルネ・ラリック
箱根ガラスの森美術館 所蔵



花文香水瓶
20世紀初頭 デンマーク
ロイヤルコペンハーゲン
高砂コレクション®



鳳凰文香水瓶、鳳凰文化粧容器
1920年頃 オーストリア
高砂コレクション®



風にそよぐグラス
1895年 ヴェネチア
ジュゼッペ・パロヴィエール
箱根ガラスの森美術館 所蔵

●3人の貴婦人の香りを会場でお楽しみ頂けます

本展覧会のために創香した、香水文化を彩る3人の貴婦人の香りをお楽しみください。（協力：高砂香料工業株式会社）



カテリーナ・ディ・メディチ
(1519~1589)

フィレンツェからフランスに香水文化を伝える



マリー・アントワネット
(1755~1793)

ヴェルサイユ宮殿の香りの流行をリード



クレオパトラ
(B.C.69~B.C.30)

数か国語を操る才覚と、香りで権力者たちを魅了

じゅうふうてい

●儒烏風亭らでんによる音声ガイドをご視聴できます



特別企画展 音声ガイド（13作品 合計約19分）を、お客様のスマートフォンから無料でご視聴頂けます。

※ナレーター： 儒烏風亭らでん

儒烏風亭らでん

カバー株式会社、ホロライブプロダクション、hololive DEV_IS「ReGLOSS」所属アーティスト。美術・工芸などへの造詣が深く、学芸員資格を所持。VTuberとして美術作品をはじめ美術館などの紹介を行う。

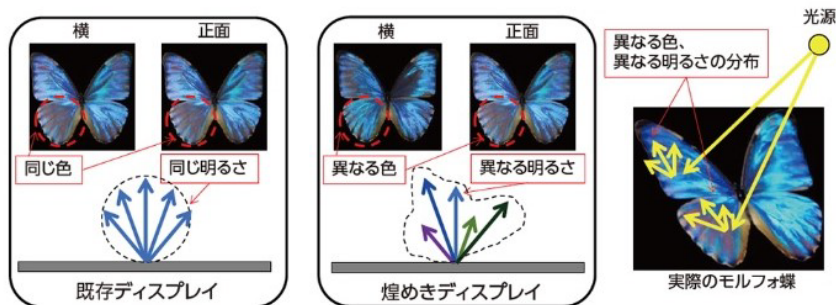


© 2016 COVER Corp.

●「煌めきディスプレイ」による展示作品の紹介

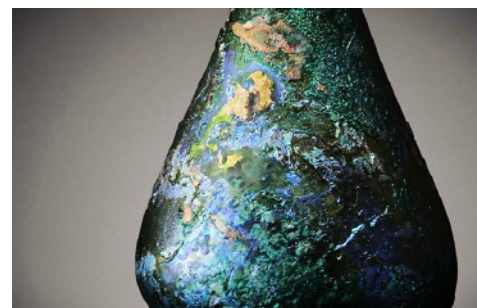
見る角度によって移り変わる色や、光が織りなす自然界の「きらめき」をリアルに再現した「煌めきディスプレイ」によって、展示や従来のディスプレイでは伝えきれない、小さな香水瓶の質感や光沢感を、高精細拡大映像でお楽しみ頂けます。

（協力：NTTアドバンステクノロジー株式会社）



既存ディスプレイと「煌めきディスプレイ」の比較イメージ

<https://www.ntt-at.co.jp/product/kirameki-display/> より転載



※作品のリアルな質感と輝きをご観いただけます
イメージ写真

●特別企画展 限定 香り付き入館券



特別企画展開催中、通常入館券が会場内で楽しみ頂けるマリーアントワネットをイメージした香りの付いた入館券になります。入館券を受け取った瞬間から、展覧会のプロローグが始まります。せひ貴婦人の香りに包まれながら展覧会をご鑑賞ください。※記憶に残る展覧会の思い出として、お持ち帰りください。

- ・季節によってチケット背面の色（緑、赤、黄）は変わります。
- ・香り付きチケットは、なくなり次第終了予定、入館チケットにつき再発行不可。

【お問い合わせ】箱根ガラスの森美術館 広報担当：根本、柳井、中野
〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 940-48 TEL 0460-86-3111
Mail hakone-m@ukai.co.jp <https://www.hakone-garasunomori.jp>